

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年4月25日

事業所名 おはなハウス

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		制作活動、運動遊びや、外遊びに分かれたり等工夫している。	受け入れ可能な人数に対して活動するには狭く感じることもありますが、集団で楽しめる活動や、二つに分けて活動していくなど、工夫して活動していきます。
	2 職員の配置数は適切である				一人一人、しっかりと向き合えるような体制をこころがけていきます。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		日頃から安全面に注意し支援をおこなっています。	必要時はできる限りのことは行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			ミーティングを行い情報共有をしている。	スタッフ間コミュニケーションが取りやすいよう職場環境を整えていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				保護者の皆さんの意見を受け止め、努力します。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			今回よりホームページにて公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者による評価は行ってない。	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			事業所内で勉強会を行っている。また外部研修案内は回覧している。	今後、外部研修にも参加できるようにしていく。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			アセスメントや関係機関からの情報をもとに支援計画書を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			標準化したアセスメントツールを使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			ミーティングで話し合い、アイデアを求め決めています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節に合わせた活動を心がけています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			お出かけや、クッキング、課題など考え、一人一人きめ細かな支援ができるよう心がけています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			子どもの特性やニーズに合わせて作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			ミーティングを行い確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			○	翌日のミーティングで振り返りをしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援内容を記録している。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリングを行い計画書の見直しを行っている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			行っております。		
関係機関や 保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児発管が参加している。	必要に応じて担当職員も一緒に参加できるように体制を整える。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校への送迎時、先生との情報交換を行っている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○		現在医療的ケアを必要とする児童がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				今後、どのように行っていけばいいのか他事業所等に教えてもらいながら行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○		今後、どのように行っていけばいいのか他事業所等に教えてもらいながら行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○		これから参加していきたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○				児童館や公園等外出するが、交流や活動する機会がないので、交流できる機会を作っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				子ども連絡会や事業所連絡会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				連絡帳や送迎時に情報交換している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		対応できるよう研修など日々勉強し、知識の向上を目指していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				事業所内に掲示している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				連絡帳や送迎時に必要に応じて対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		保護者の意見を聞きながら、今後検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				契約の時にご説明させていただきました。その都度、どう対応した等記録しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			○		毎月予約表と一緒に、翌月の活動内容をご案内しています。
	35	個人情報に十分注意している	○				個人情報取り扱いの同意書をいただき他機関と情報共有する際には了解を得るようにしている。
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				子どもやよっては絵カードなど使い意思疎通ができるよう対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		地域に開かれた事業運営に向け取り組んでいく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			○		職員には周知できているが保護者に対して周知されていないため、今後、説明していこうと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			○		職員間で確認は行っている。今後避難訓練を定期的に行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				事業所内で勉強会をしているが、今後、外部研修にも参加していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				現在、該当する児童がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○		保護者を通じて情報を得て対応している
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				ヒヤリハット・事故報告書を作成し共有している。	